

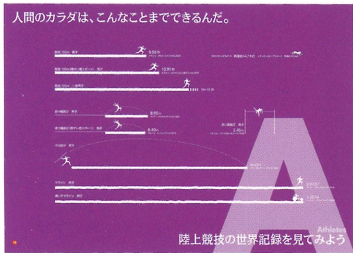
13▶作物のドクターがいる。



害虫の中には、低気圧の影響で中国大陸から飛ばされてくるものもあります。道南は北海道の入り口に当たるために、道南試験場ではさまざまな対策に取り組んでいます。

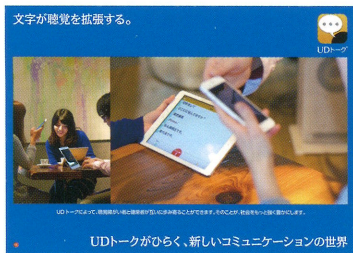
写真提供/道南農業試験場 青木元彦

14▶人間のカラダは、こんなことまでできるんだ。



トップアスリートたちの記録を見ると、人間にはこんなことまでできるんだ、という思いがわいてきます。人間の生身のカラダがもつ可能性の大きさに驚きます。

15▶文字が聴覚を拡張する。



UDトークは、声を文字に換えるコミュニケーションアプリ。聴覚に障がいのある人々と社会を、これまでになかった方法で歩み寄せ、結びます。

16▶テクノロジーがカラダを拡張する。



カラダの筋肉の動きは、脳からの電気信号が制御しています。メディカルITと呼ばれる新しい情報技術が、新しい義手づくりに活かされはじめています。

17▶土器の技術が、寿命と健康を育んだ。



縄文時代の人々は、つねに全身と五感をフルに使って自然の一部のように暮らしていました。現代人よりもよほど健康的だったのかもしれない。

撮影協力/函館市縄文文化交流センター

18▶カラダという自然を生きる。



生身のカラダによって世界と交わり、道具をたくみに作り出していた縄文の人々は、カラダという自然を私たちよりも深く生きていたのではないのでしょうか。

撮影協力/函館市縄文文化交流センター

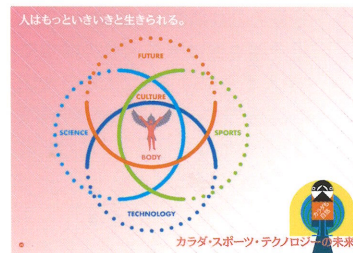
19▶テクノロジーで、カラダがカラダを超えていく。



人間の代わりになる機械ではなく、人間のカラダの能力を直接伸ばしてくれる機械へ。人間と道具をめぐる新たな次元の研究が進められています。

写真提供/稲見昌彦(東京大学)

20▶人はもっといきいきと生きられる。



スポーツを楽しむことは、カラダを意識すること。テクノロジーは、人間の生命力を拡張してくれるでしょう。健康の未来は、これら3つの掛け合わせから広がっていきます。



健康とは何でしょう。私たちの心とカラダからはじまり、地域社会の健やかさから生活環境まで。「身体」「スポーツ」「テクノロジー」を切り口に、現代の健康を考えてみましょう。

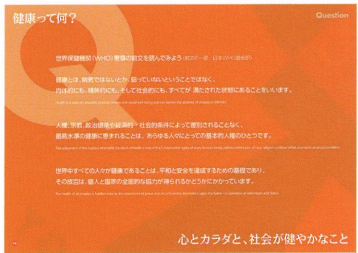
- 主催:サイエンス・サポート函館
- 協賛:函館商工会議所、函館環境衛生(株)、(株)トージュビルサービス、函館空港ビルデング(株)、(株)村瀬鉄工所、五稜郭タワー(株)、佐藤木材工業(株)、(株)エスイーシー、函館山ロープウェイ(株)、(株)明電舎、はこだてみらい館、ソニーPCL(株)、みぞくち事業(株)、(一社)函館建設業協会
- 協力:国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)

01



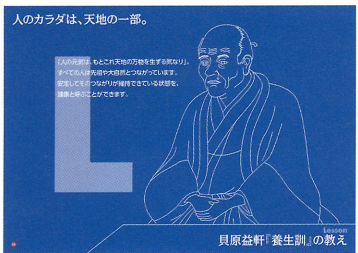
はこだて国際科学祭2017 企画展
カラダも自然
健康をめぐる
科学と文化を考える。

02 ▶ 健康って何？ 心とカラダと、社会が健やかなこと。



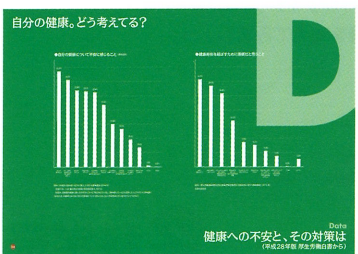
世界保健機関 (WHO) では健康を、カラダに困難がなく、さらには家族や地域社会、職場などに豊かな人間関係があり、精神的にも安定している状態であることと定義しています。

03 ▶ 人のカラダは、天地の一部。



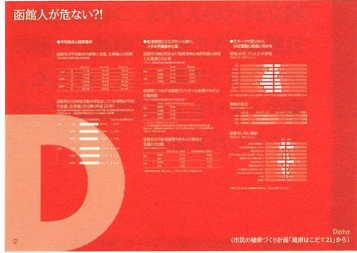
江戸時代の思想家貝原益軒は、「人のからだは先祖の歴史や天地と深くつながっている」という考えを、『養生訓』という本で繰り返し主張しました。

04 ▶ 自分の健康。どう考えてる？



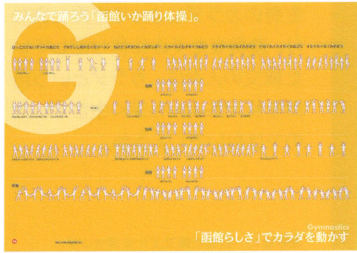
平成28年版厚生労働白書のテーマは、「人口高齢化を乗り越える社会モデルを考える」。いまの日本に必要なこととして、「地域共生社会」のあり方を掲げています。

05 ▶ 函館人が危ない?!



函館市民の平均寿命と健康寿命は、全国や北海道の平均より短くなっています。生活習慣病を防ぐための意識も低いことがわかります。30代以上の男性の肥満傾向も心配です。

06 ▶ みんなで踊ろう「函館いか踊り体操」。



函館いか踊り体操は、「のしいかスクワット」「波いかバランス」「昆布ツイスト」「横波シェー」など、運動の基本に函館らしさをたくさん取り入れた本格的な体操です。

「函館いか踊り体操解説図」より

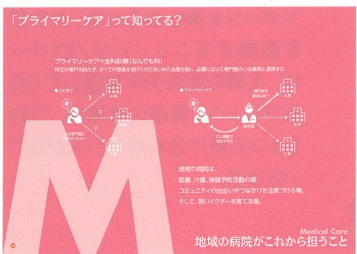
07 ▶ スポーツがまちを強くする。



近年函館でも生まれている「総合型地域スポーツクラブ」と呼ばれる場では、老若男女が世代を越えて健康増進を楽しみ、新しい出会いが生まれています。

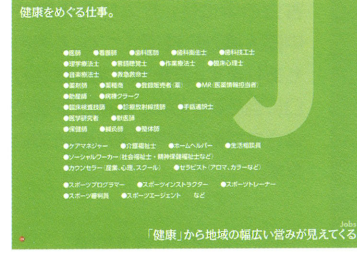
写真提供 / 総合型スポーツクラブ ミスポはこだて

08 ▶ 「プライマリーケア」って知ってる？



地域の公共病院は、医療はもとより介護や保健予防活動の拠点であり、さらにはまちづくりの大切な基盤です。松前町立松前病院は、先駆的な取り組みで注目を集めてきました。

09 ▶ 健康をめぐる仕事。



医療現場や福祉施設、そしてモノづくりの現場からスポーツのシーンまで。地域には世代を超えたさまざまな人々の健康に関わる技能を持った、たくさんの方が働いています。

10 ▶ 楽しくなければスポーツじゃない。



1924 (大正13) 年、函館商業高校創立25周年の年の運動会のひとコマが、絵ハガキになっていました。

北海道庁立函館商業学校 創立25周年記念大運動会絵ハガキ / 函館市中央図書館 所蔵

11 ▶ 建物が生き返ると、人とまちが動き出す。



函館には、歴史を刻んできたたくさんの建物があります。住まう人がいなくなってしまったそうした家々を再生させる、新しい動きが活発になっています。

12 ▶ タバコを吸わない世代が、世界の「希望」。



いま世界では、生涯にわたってタバコを吸うことのない世代をつくることをめざす、「タバコフリージェネレーションムーブメント」という取り組みがはじまっています。